

みの〜れで人生に輝きと彩りを!!



なつかしの名画座実行委員会
光と風のステージ CUE プロジェクトチーム

高橋 廣さん

「みの〜れはいつも新しい
出会いがある場所です」
と笑顔で話す高橋さん。

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.82

桜のイルミネーションから若葉がマイナスイオンのシャワーを放つ季節に移り変わり、彩りを添えるようにチューリップや水仙の花がきれいに咲いていますね。春は体の芯から元気になるような気がします。今回は、なつかしの名画座実行委員会・光と風のステージ CUE プロジェクトチームをはじめとして多数の実行委員会に所属し、みの〜れで活躍中の羽鳥地区にお住いの高橋廣さん取材します。

若さの秘訣は人と ふれあうこと!!

高橋さんは2005年に行われたコーラスワークショップに参加し、みの〜れと関わりを持つようになりまし。ワークショップは全10回の練習があってソプラノ歌手の大森智子さんから指導を受ける機会があり、高橋さんは2回目から参加しました。それがきっかけで地区のコーラスグループ「混声やまばと」にも同じ時期に入り、現在も「やまばと」で活躍中です。

「やまばと」の代表の人がさくらフェスティバルの実行委員だったので、当日のスタッフとして野外部門のお手伝いをしました。それがきっかけで、次の年は実行委員になつて野外を担当しました。また、その次の年は風のホールを担当してジャングルを再現したんです。しかも実行委員長になってしまつて大変でしたが楽しかったです。

さくらフェスティバルが終わつてから、企画実行委員会に入つて

6年になります。何か新しい企画を立ち上げようということになって他の委員さんと一緒になつかしの名画座を立ち上げました。回を重ねるとにパンフレットやサロンも作つていき、試行錯誤しながら現在の形にしていきました。

また、みの〜れ支援隊で舞台技術を担当するスタッフエッグでは、最初は公演当日の手伝いだけでしたが、本格的に活動するようになって照明・音響・舞台上の配置なども手伝うようになりました。始めた頃は、興味津々で公演前日の夜に来て手の込んだ作業をしていましたよ。ピンスポットの練習をして、公演本番でやらせてもらいました」と楽しそうに話してくれました。

さらに、高橋さんは「趣味は山登りで、美野里山の会に入つて15年くらいになりますね。最初は奥さんが入り、おもしろいから」と言われて引きずり込まれました。一番最初に登つたのが槍ヶ岳でした。あまり天気が良くなって却つてそれが良かったという...実は最後の10メートルくらい鉄

のハシゴを登るんです。下が見えなくて良かった(笑)。年に2回山小屋に泊まつて、毎月1回は山登りをしています。毎日ウォーキングをしている他に、週4回スポーツジムに通い体力維持を心がけていて、頭と体を使うエアロビクスもやっていますよ。家にいると汗をかかないのでジムに行く調子がいいです。

この他にも四季健康館の調理室を借りて、男の健康料理も習っています。タニタ食堂のレシピ本を教科書にしていて、家ではフライパンで作るものは担当しています」と若くいられるコツをそつと教えてもらいました。

高橋さんにとつてみの〜れは「新しいこと」にふれられる場所。人を案内するとか、お客さんに喜んでもらえるのももちろんですが、人と会えるのが一番です。お陰様で自分では年を取つたという感覚がないんですよ...もう70歳も過ぎてゐるのに」と、毎日が忙しの高橋さんが眩しく見えました。